

甲斐市立竜王南小学校 自己評価(前期)

平成26年7月18日(金)作成

学校長 堀内 訓 | 記者者 職名：主幹教諭 氏名：進藤雅一

◇ 本年度の学校教育目標

「楽しい学校(楽校)の創造」 -やる気 こん気 げん気-

○ 具体目標(めざす子ども像)

- ・ 進んで学ぶ みなみの子ども (知育・確かな学力)
- ・ 思いやりのある みなみの子ども (徳育・豊かな心)
- ・ じょうぶでげん気な みなみの子ども (体育・健康な体)

◎ 児童の行動目標

- ①「授業に集中」しよう。
- ②「あいさつ」をしよう。
- ③「命を大事に」しよう。

平成26年度 甲斐市立竜王南小学校

教科教育全体計画

国・県・市等の施策

日本国憲法・教育基本法
 学校教育法・教育関連法
 学習指導要領
 やまなし教育振興プラン
 山梨県学校教育指導重点
 甲斐市創甲斐教育大綱 他

情報公開・説明責任

学校評価・授業参観
 学校開放・HP・
 たよりの発行
 学校教育の可視化
 個人情報の保護管理
 アカウタビリティ 他

学校教育目標
「楽しい学校(楽校)の創造」
 -やる気 こん気 げん気 -
 ◆進んで学ぶ みなみの子ども
 ◆思いやりのある みなみの子ども
 ◆じょうぶで元気な みなみの子ども

家庭・児童・地域
 地域の自然・歴史・文化・産業
 児童の実態・保護者の願い
 地域の願い・社会の動向・課題 他

連携・関係機関
 学校評議員会・PTA
 学校関係者評価委員会
 学校ボランティア
 保育園・幼稚園・中学校
 社会福祉協議会・公民館
 関係諸機関・各種団体 他

生きる力の育成
 生きる力をはぐくむ教育課程の編成と実施



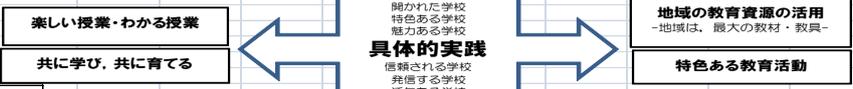
確かな学力
 -進んで学ぶ みなみの子ども-
 ・基礎基本の定着・個に応じた指導・思考力・判断力・表現力の育成・学習に取り組む態度と規律の育成・言語力(聴く力話す力)の向上・NIEの実践 他

豊かな心
 -思いやりのある みなみの子ども-
 ・道徳授業を旨とした心の教育・ふれあい道徳と読書活動の充実・コミュニケーション(人間関係)能力の向上・地域人材や地域教材の活動・地域・保幼小中との交流 他

安全・健康な体
 -じょうぶで元気な みなみの子ども-
 ・体力づくり運動の実践・運動の日常化・芝生校庭の活用・健康な生活と生活リズムの定着・健康・安全・食教育の充実・関係機関との連携協力 他

開かれた信頼される学校
 ・地域や家庭との連携・学校評価の実施と改善・危機管理体制と防災安全教育

平成26年度 学校経営の中核
達成感・満足感・成就感・充実感に支えられた楽しい学校・学級・授業をめざして
 楽しさの意味と深まりを大切に教育活動の創造と実践
当たり前のことが当たり前になる きれいな学校をめざして
 基本的生活・学習習慣「当たり前10か条」の定着と拡大



- 道徳教育の重点目標**
- 基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに健康な子どもを育てる。
 - 自他の命を尊重し、命ある全てのものに感謝や思いやりの心を持つ児童を育てる。
 - 集団の一員としての自覚を認め、進んで責任を果たす児童を育てる。
 - 伝統的な文化を学び、郷土を愛し、歴史を文化の遺産と捉えることができる児童を育てる。
- 特別活動の重点目標**
- 自ら考え主体性を持ち、意欲的に活動する児童を育てる。
 - 集団の総意を前向きに解決できる児童を育てる。
 - 集団活動の取り組みの中で自他の個性を発見し、活動に生かせる児童を育てる。
 - 自発的、積極的な活動の取り組みの中で、自発的、実践的な企画運営力を持つ児童を育てる。
 - 学校生活を楽しくするための工夫をし、創造的に取り組むことができる児童を育てる。
- 総合的な学習の時間のねらい**
- 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する学習能力を育てる。
 - 情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表、討論の仕方などの学び方やものの考え方を身に付け態度を育てる。
 - 主体的、創造的な態度を育てる。
 - 自分の考えや意見をもち、自分のよさに気づき、自らに自信をもち、誇りをもって自己の生き方について考えることができるようになる。
- 外国語活動の重点目標**
- 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の育成を図る。

教科教育の重点目標

- 各教科の持つ指導目標を学校内外の社会生活の経験に基づきながら達成することにより、人間相互の関係について正しい理解をし、自主・自立の精神を養う。
- 心身の調和的発達を図り、生活を明るく豊かなものにする力を養う。
- 体系的な学習や問題解決的な学習の充実を図り、考える力、表現する力を養う。

教科	教科目標
国語	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び基礎感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。
社会	社会生活についての理解を図り、我が国と国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
算数	算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について興趣をもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。
理科	自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事象・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。
生活科	具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。
音楽	表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。
図工	表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。
家庭科	衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にすることを心づかき、家族の一員として生活によりよくしようとする実践的な態度を育てる。
体育	心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

- 生徒指導の重点目標**
- 心身ともに健康で安全に、「どの子どもにも居場所と出番のある学校・学級の実現をめざす。
 - 障害を持つ児童を担任が抱え込まず、全員員で関わり支えていく！
 - 「どの子どもにも居場所と出番のある学校・学級の実現をめざす。
- 特別支援教育基本方針**
- 児童一人ひとりのニーズに応じた教育をめざす。
 - 障害を持つ児童を担任が抱え込まず、全員員で関わり支えていく！
 - 「どの子どもにも居場所と出番のある学校・学級の実現をめざす。
- キャリア教育の重点目標**
- 相手の気持ちを考えながら、自分の気持ちを考えながら、自分気持ちを豊かに伝えることができる。
 - 相手の気持ちや自分の長所に気づき、協力して活動することができる。
 - 意や希望を共有し、模範よく努力することができる。
- 学校安全**
- 甲斐市地域防犯計画
 - 学校安全・危機管理マニュアル
 - 安全管理
 - 対人管理
 - 学校環境の安全管理
 - 対人管理
 - 生活や行動の安全管理
 - 心の安全管理
 - 安全指導
 - 学級活動・学校行事
 - 内閣省活動・個別指導
 - 日常生活等における安全指導
 - 安全学習
 - 体育科(保健領域)
 - 図工科
 - 総合
 - 自治活動等における安全に関する学習

I 平成26年度 甲斐市立竜王南小学校「学校評価」の経過

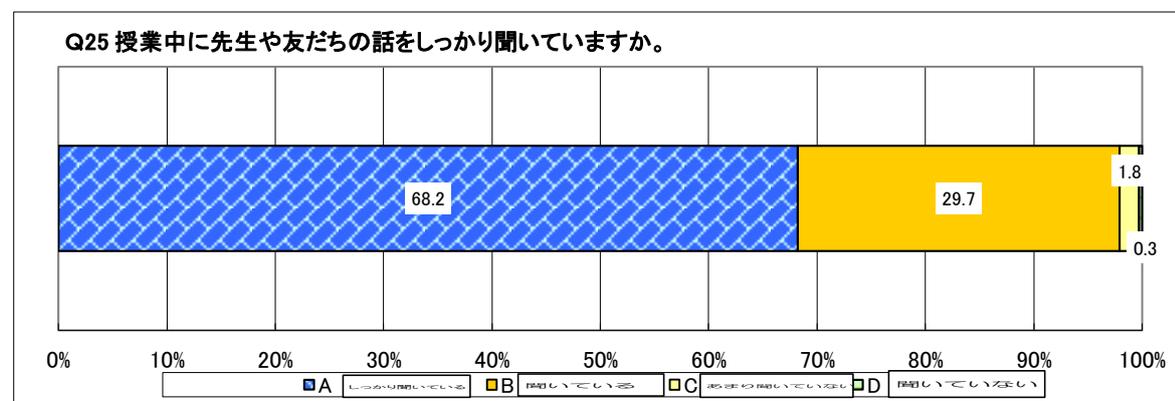
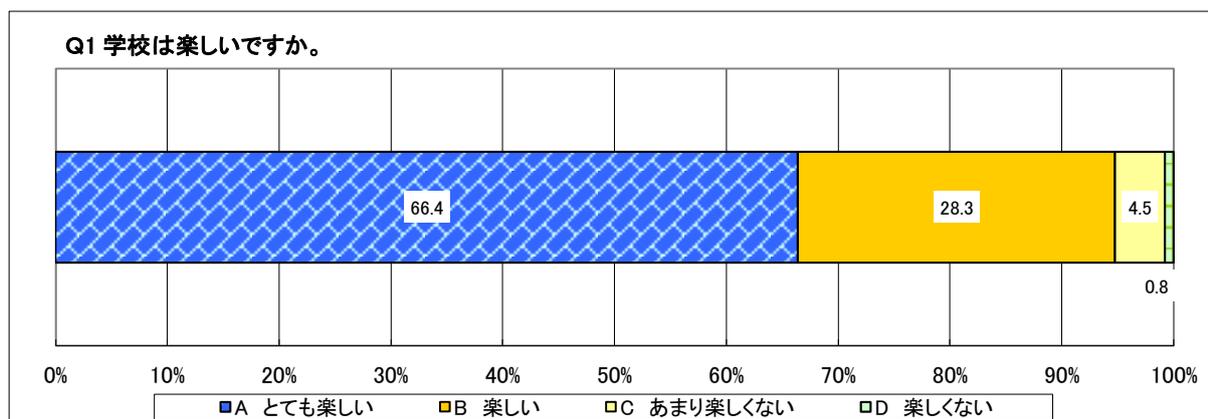
日時	実施内容	備考
5月28日 (水)	・各クラスへ自己評価及び児童用アンケート配布	・朝礼にて提案 ・自己評価及び児童用アンケート配布
5月29日 (木)	・前期自己評価実施開始 ・児童用アンケート実施開始(6年)	
5月30日 (金)	・前期自己評価実施	・自己評価→終礼時に一斉に実施 ・児童アンケート→主幹の机に提出 *シートの回答者欄は必ず確認
6月2日 (月)	・児童用アンケート実施開始(1～5年)	・終了次第, 主幹へ各クラスごとの袋に入れて提出。
6月6日 (金)	・児童用アンケート回収完了	
6月9日 (月)	・前期自己評価送付 ・児童アンケート送付	・教育総務課集配→委託業者
6月27日 (金)	・自己評価書作成完了(主幹)	・完成した評価を校長・教頭へ提出(監査を受ける)
7月18日 (金)	・自己評価書校内報告	終礼にて報告
	・学校関係者評価委員会開催 PM7:30- 会議室	・出席者: 学校関係者評価員・校長・教頭・主幹・生徒指導主任
7月22日 (火)	・学校関係者評価書作成完了(主幹)	・完成した評価を校長・教頭へ提出(監査を受ける)
7月24日 (木)	・学校関係者評価書校内報告	・校内研の中で報告
7月31日 (木)	・自己評価書+学校関係者評価書提出	・市教委提出
9月上旬 ()	・自己評価書+学校関係者評価書HP公表(市教委確認後)	・情報担当(西川)HPアップ
8月28日 (木)	・定例教育委員会報告	

II 全体評価

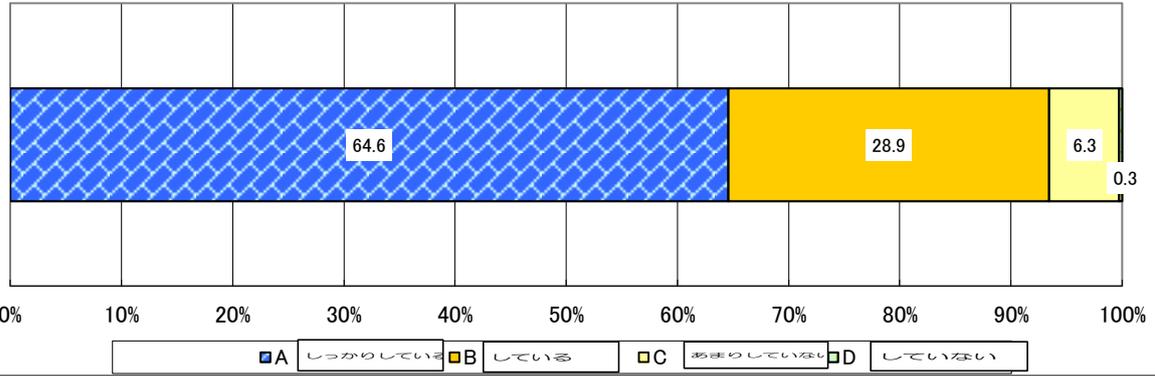
今年度は、校長をはじめ大きな職員の異動があったものの、昨年度から継続して掲げている学校教育目標「楽しい学校（楽校）の創造」を達成すべく多くの活動が1学期の中でも行われてきた。また、この2年間甲斐市教育委員会指定「習得・活用・探求する児童の育成推進事業」に取り組んだ。校内研究のテーマは、「いきいきと学び合い楽しくわかる授業」として、全校一丸となって実践を積み重ねてきた。今回の評価の中にも、研究の柱としてQUによる学級経営の分析と改善、仲良く楽しい授業の実践による成果が少しずつ表れてきたものといえ、全校児童のアンケート集計からもA（とても楽しい）+B（楽しい）の値で94%以上という学校生活に満足している児童の割合が極めて高い点が状況として掴むことができた。

特に今年度、学校長から児童の行動目標として①「授業に集中」しよう。②「あいさつ」をしよう。③「命を大事に」しよう。の三点の具体的な方針が示された。1学期の取り組みの中で、児童に少しずつ浸透してきたように感じるものが資料のグラフからも分かる。授業への集中という点では、Q25からA（しっかり聞いている）+B（聞いている）が97%以上、あいさつの取り組みという点ではQ26からA（しっかりしている）+B（している）が93%以上、命を大切に事故やケガのない注意深い生活という点では、Q27からA（しっかり気をつけている）+B（気をつけている）が95%以上という、高い値を示していることから児童が意識して取り組んでいることがうかがえる。

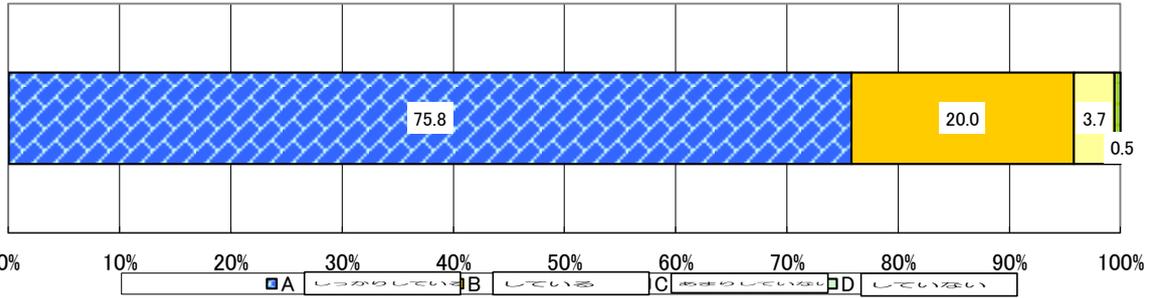
しかしながら、児童のアンケートからは睡眠時間や児童の読書時間の取り組みに、個人差が大きくばらつきが見られる課題もあらためて明確となってきた。生活リズムを安定させることの大切さを学校で指導すると共に、家庭での時間のゆとりを確保していくよう各家庭へ啓蒙し続けていくことが、児童の生活改善の一步であると考えており、今後とも続けていきたい。これからも児童一人ずつの頑張り、学校での取り組み、そして保護者や地域の方との協力体制をより強固なものにして、日々の学校の活動のみならず2学期に行われる公開授業研究に向けて、より良い学校の具現化に努めていくことが必要である。



Q26 学校であいさつをしっかりとっていますか。



Q27 事故やケガがないように、気をつけて生活をしていますか。



III 各項目ごとの評価

1 学校教育目標・学校経営について

番号	質問内容	A		B		C		D		合計		E	無効
		そう思う		ややそう思う		ややそう思わない		そう思わない				わからない	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	
1	あなたの学校は、学校教育目標が、学校経営方針を踏まえたものになっている。	32	88.9	4	11.1	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
2	あなたは、学校経営方針に基づき、教育活動を行っている。	27	75.0	9	25.0	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
3	あなたの学校は、学年の教育活動計画が、教育目標や重点目標を踏まえたものになっている。	32	88.9	4	11.1	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
4	あなたは、学校の教育活動計画に基づき、実際に即した教育実践を行っている。	27	75.0	9	25.0	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
5	あなたの学校は、P→D→C→Aサイクルで、教育活動が取り組まれている。	25	69.4	11	30.6	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
6	あなたは、P→D→C→Aサイクルを生かした教育活動を行っている。	21	58.3	15	41.7	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
7	あなたの学校は、職場の福利厚生や健康管理について配慮がなされている。	25	69.4	11	30.6	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
8	*オリジナル項目	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	35

学校教育目標・学校経営についてはA（そう思う）+B（ややそう思う）全てで100%であった。全体評価にもあるように何年かに渡ってきた「楽しい学校（楽校）の創造」というものが職員にも浸透してきて高い値を示していると思われる。

PDCAサイクル（PLANプラン計画、DOドゥ実行、CHECKチェック評価、ACTIONアクション改善）については、職員の意識としてより実践を高めていく取り組みがこれからも求められていく。キープ&チェンジの取り組みを、全職員共通理解のもとより推進していくことで、児童の活動へより生かしていくように努めていきたい。

2 学校運営について

番号	質問内容	A		B		C		D		合計		E	無効
		そう思う		ややそう思う		ややそう思わない		そう思わない				わからない	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	
1	あなたは、校舎内外の施設設備を定期的に点検し、結果を的確に処理・報告(整備・保全)している。	26	74.3	9	25.7	0	0.0	0	0.0	35	100.0	1	0
2	あなたは、危機管理(防犯、防災、事件、事故等)マニュアルを理解している。	16	44.4	20	55.6	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
3	あなたは、個人情報保護・情報セキュリティの観点から、諸表簿や文書、記憶媒体を適切に管理・活用している。	29	82.9	6	17.1	0	0.0	0	0.0	35	100.0	1	0
4	あなたの校務分掌は、学校運営上、機能している。	25	73.5	9	26.5	0	0.0	0	0.0	34	100.0	2	0
5	あなたは、職員会議に、積極的に関わっている。	19	55.9	14	41.2	1	2.9	0	0.0	34	100.0	2	0
6	あなたは、他の教職員と相互理解や信頼関係を深めて、教育活動にあたっている。	28	77.8	8	22.2	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
7	あなたは、職務上「報告、連絡、相談、確認」を行っている。	32	88.9	4	11.1	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
8	あなたは、校内研究(研修)に主体的に関わっている。	22	64.7	12	35.3	0	0.0	0	0.0	34	100.0	2	0
9	あなたの学校は、特別支援教育の体制が整い、機能的に行われている。	31	91.2	3	8.8	0	0.0	0	0.0	34	100.0	2	0
10	*オリジナル項目	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	35
11	*オリジナル項目	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	35
12	*オリジナル項目	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	35

学校運営に関しては、学校教育目標同様に全ての項目でA（そう思う）+B（ややそう思う）の値が高いものを示していた。職員全体で竜王南小学校をよくしていきたい、という意識が高いものであることが分かる。特にその中でも、昨年度から4クラス設置してある特別支援学級編成については、特に意識が高い学校であることも分かった。今年度は在籍数が多くなっていることで、交流学級の担任との連携、人手不足の場合のバックアップ体制等、全職員で支えていこう意識がとて高いたことが挙げられる。会議等で行われている児童の情報交換を今後とも続けていき、全ての児童が楽しく感じられる学校を今後とも目指していきたい。

危機管理に関しては、やや低い値を示すこととなった。年度当初に昇降口のガラスが割られるなどのこともあった影響が考えられる。既に、児童などの出入りする主要な場所は防犯カメラを設置している。

3 学習指導について

番号	質問内容	A		B		C		D		合計		E		無効
		そう思う		ややそう思う		ややそう思わない		そう思わない				わからない		
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
1	あなたは、民主的で規律ある学級・学年・学校集団づくりを行っている。	24	77.4	7	22.6	0	0.0	0	0.0	31	100.0	5	0	
2	あなたは、児童生徒の学びの意欲を喚起する授業を行っている。	21	63.6	12	36.4	0	0.0	0	0.0	33	100.0	3	0	
3	あなたは、基礎・基本の定着を図る授業を行っている。	27	81.8	6	18.2	0	0.0	0	0.0	33	100.0	3	0	
4	あなたは、個に配慮した授業を行っている。	25	75.8	8	24.2	0	0.0	0	0.0	33	100.0	3	0	
5	あなたは、評価基準と評価方法を明確にした授業を行っている。	17	51.5	16	48.5	0	0.0	0	0.0	33	100.0	3	0	
6	あなたは、教材教具や備品等を活用した授業を行っている。	23	69.7	10	30.3	0	0.0	0	0.0	33	100.0	3	0	
7	あなたは、質問や発言が出てくる授業を行っている。	19	57.6	14	42.4	0	0.0	0	0.0	33	100.0	3	0	
8	あなたは、宿題や家庭学習に対する指導を行っている。	26	78.8	7	21.2	0	0.0	0	0.0	33	100.0	3	0	
9	あなたは、教科に必要な指導時間の確保に努めている。	26	83.9	5	16.1	0	0.0	0	0.0	31	100.0	4	1	
10	*オリジナル項目	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	35	

学習指導については学校教育目標「楽しい学校（楽校）の創造」に向けて、楽しい授業づくり、楽しいクラスづくりに全職員が力を入れて取り組んでいることがうかがえる。その中でも、全体評価に掲げたように基礎基本を重要視して指導にあたっていることが、3番の設問「あなたは基礎基本の定着を図る授業を行っている。」のA（そう思う）81.8%に表われている。また、個別の対応を意識している点も4番、9番の設問からも分かり、児童の個人差に如何に対応していくか、日々配慮しながら学習していることが分かる。

それと同時に5番の「評価基準と評価方法を明確にした授業を行っている。」はB（ややそう思う）が48.5%、7番「質問や発言が出てくる授業を行っている。」もB（ややそう思う）が42.4%の値を示した。より個に応じた学習を推進していくことと、学習の中身を明確化し、より分かりやすい授業の実践を考えていくことが課題と思われる。

4 生徒指導について

番号	質問内容	A		B		C		D		合計		E		無効
		そう思う		ややそう思う		ややそう思わない		そう思わない				わからない		
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	
1	あなたは、児童生徒理解のためにコミュニケーションを図っている。(対:児童生徒)	26	74.3	9	25.7	0	0.0	0	0.0	35	100.0	1	0	
2	あなたは、児童生徒の規範意識をばくむ指導に取り組んでいる。	27	77.1	8	22.9	0	0.0	0	0.0	35	100.0	1	0	
3	あなたは、生き方教育(キャリア教育・進路指導など)を児童生徒の実態に応じて行っている。	11	33.3	22	66.7	0	0.0	0	0.0	33	100.0	3	0	
4	あなたは、問題行動(いじめ、不登校等)の早期発見・早期対応ができている。	20	58.8	14	41.2	0	0.0	0	0.0	34	100.0	2	0	
5	あなたの学校は、職員間で生徒指導上の課題を共有した対応が行われている。	28	80.0	7	20.0	0	0.0	0	0.0	35	100.0	1	0	
6	あなたの学校は、児童生徒の健全育成のために、学校・保護者・地域及び関係機関との連携が図られている。	26	74.3	9	25.7	0	0.0	0	0.0	35	100.0	1	0	
7	あなたは、「わたしたちの道徳」などを活用し豊かな心を育む指導に取り組んでいる。	12	44.4	15	55.6	0	0.0	0	0.0	27	100.0	9	0	
8	*オリジナル項目	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	35	

生徒指導についての項目では、全ての項目でA（そう思う）+B（ややそう思う）の値が95%以上という高い回答を示した。会議の最後には「気になる児童の連絡」を設けることで、対処する行動から未然に防ぐ行動へとスイッチしていることが分かる。また、全職員共通理解のもと指導にあたることで、どの児童にもクラス以外でも居場所を確保することができる。児童アンケートの中から「困った時に相談してくれる先生の存在」でも80%以上の回答が得られていることから分かる。

課題点としては、3番の「生き方教育」の推進と7番の「豊かな心を育む指導」が挙げられる。将来の自分像を描き大きな夢をいつも心に持てる児童の育成、そして多くの仲間と心をつなげていく活動に力を入れていくことが望まれる。

5 地域との連携について

番号	質問内容	A		B		C		D		合計		E	無効
		そう思う		ややそう思う		ややそう思わない		そう思わない				わからない	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	
1	あなたは、教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っている。	18	50.0	18	50.0	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
2	あなたは、保護者や地域の願いに応えるため、学校に対する要望等を聞くなどの機会を設け、情報収集を行っている。	16	47.1	18	52.9	0	0.0	0	0.0	34	100.0	2	0
3	あなたの学校は、学校の教育活動について、たよりやホームページを通して保護者や地域に広報している。	27	75.0	9	25.0	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
4	あなたは、PTA活動に主体的に参加している。	20	58.8	14	41.2	0	0.0	0	0.0	34	100.0	2	0
5	保護者は、PTA活動に協力的である。	17	47.2	19	52.8	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
6	地域・保護者は、児童生徒の安全確保に努めている。	29	80.6	7	19.4	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
7	保護者は、学習指導や生活指導に協力的である。	13	36.1	23	63.9	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
8	あなたの学校では、学校評議員制度や学校関係者評価委員会の話し合いの結果が学校教育に生かされている。	26	72.2	10	27.8	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
9	あなたの学校は、開放日などを通じて地域に開かれた学校づくりに努めている。	33	97.1	1	2.9	0	0.0	0	0.0	34	100.0	1	1
10	*オリジナル項目	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	35

多くの異動してきた職員からは、「地域の方が竜王南小の児童のためにいろいろな活動に取り組んでくださる。」という声を発しているように、アンケートの回答からもそれが感じられる。農園での作業、田んぼの取り組み、グリーンカーテンの設置、芝生への散水、朝と夕の交通安全指導など、感謝するばかりである。学校側からもホームページを中心に様々な情報発信をしている。今年度からは「安心メール」の活用を前面に出しており、前述の危機管理の面からも素早く保護者へ連絡を取れる体制を確立していくよう心がけている。

家庭学習の件は校内研究の取り組みとして「家庭学習の手引き」を既に各家庭に発送しており、7番の「学習指導や生徒指導に協力的である。」の向上を目指している。児童の学習や規律は学校、家庭、地域の三本柱が揃ってこそ大きな成果となるので、より連絡を密に取りながら共同体制を確立していくことが必要である。

6 学校の特色に関して

番号	質問内容	A		B		C		D		合計		E	無効
		そう思う		ややそう思う		ややそう思わない		そう思わない				わからない	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	
1	児童生徒が進んで挨拶をするよう、指導に努めている。	35	97.2	1	2.8	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
2	授業参観日や学校開放日を保護者や地域に伝え、定期的実施している。	36	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
3	あなたは、児童が積極的に読書活動に取り組むよう指導に努めている。	27	75.0	9	25.0	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
4	あなたは、児童が児童会行事に進んで取り組むよう指導に努めている。	23	63.9	13	36.1	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
5	あなたは、掲示物など教育環境づくりに努めている。	27	75.0	9	25.0	0	0.0	0	0.0	36	100.0	0	0
6	あなたは、児童が自分の考えを発表できるよう指導に努めている。	24	70.6	10	29.4	0	0.0	0	0.0	34	100.0	2	0
7	あなたは、朝学習・朝読書の充実にも努めている。	24	82.8	5	17.2	0	0.0	0	0.0	29	100.0	7	0
8	あなたは、校内研究会のテーマを生かした教育活動に努めている。	22	68.8	10	31.3	0	0.0	0	0.0	32	100.0	4	0
9	*オリジナル項目	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	35

今年度、児童の行動目標に掲げているように「あいさつ」の取り組み等、とても高い回答を示した。保護者や地域の方に開放している授業なども一ヶ月に一度は実施しており、多くの来校者を迎えている。児童アンケートの課題である読書活動の推進については職員も意識しており業前の時間を確保すると同時に、図書委員会などで多くのアイデアを出しながら、より多くの本に親しんでもらうよう努力を重ねているところである。

児童会の取り組みについては、児童総会が5月に実施されすぐに6年生の親睦球技大会や修学旅行と重なり多忙となった影響が挙げられる。今後2学期に向けて、運動会の活動をスタートにより全校児童が交流を図りながら、全職員で指導にあたっていくことに力を取り入れていきたいと思う。

IV 児童アンケートから気になる部分について

気になる項目D（そう思わない）・・・割合が3%以上いる項目について

- ① 9番「勉強で分からないことがあったら先生に聞いていますか。」・3.7%（14人）
- ② 11番「授業中に質問や意見を言っていますか。」・・・・・・5.6%（21人）
- ③ 12番「宿題は忘れずにしていますか。」・・・・・・5.1%（19人）
- ④ 13番「学校以外で学年目標時間の勉強をしていますか。」・・・・3.7%（14人）
- ⑤ 14番「家の人と学校での様子を話していますか。」・・・・・・3.7%（14人）
- ⑥ 16番「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」・・・・・・6.6%（25人）
- ⑦ 19番「一日当たりどのくらいの時間読書を読みますか。」・・・・・・12.1%（46人）

昨年度同様に、下位層を取り上げてみた。全体評価は前述にもあるように高い数値の回答を得られ、竜王南小学校での教育活動が着実に実を結びつつあること表しているが、わずかであるが下位層の意見も見逃してはならない現状である。

ある部分に関しては、全体評価として数値が高い項目が、ここでは逆に取り上げられている。つまりは個人差が大きいたいへんばらつきのある項目であるということでもあるというのが分かる。それぞれの児童のおかれている様々な状況を担任のみならず、多くの職員でサポートし、どこに原因がありどうやって解決していくことが望ましいのかを、これからも日々探っていく必要が感じられる。職員でもいつも情報を共有化し、多くの手立てを児童にしながら、よりよい児童の育成に向けて努力を重ねていくことが求められている。